

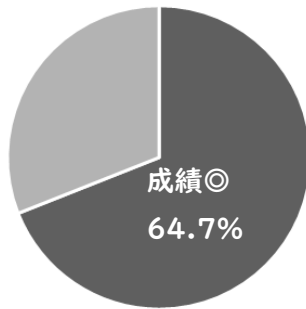


学力の向上 = 学習の「量」 × 学習の「質」

もうすぐ中間考査です。今回は、**学力を伸ばすために必要不可欠な要素である、学習の「量」と「質」の両立**について考えてみましょう。

下のグラフに、先輩方のデータを出しています。2年生の秋に成績のよかった人を成績◎、成績が伸び悩んだ人を成績▲と表しています。

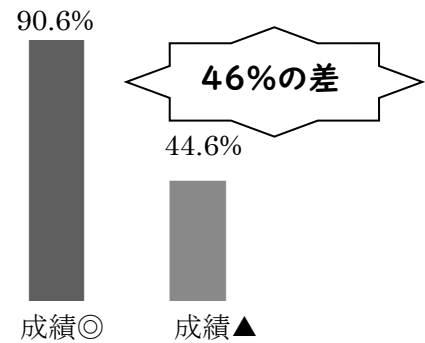
学習の「量」



この数値は…

「平日2時間以上勉強している成績◎の割合」
⇒ 成績がよかった人は学習時間を確保している

学習の「質」



このデータは…

「ただ暗記するのではなく、理解して覚える
成績◎と成績▲の各割合」
⇒ **成績◎と成績▲では46%もの差が!**

データは、2022年度スタディーサポート2年生第2回全国集計結果より。「成績◎」はGTZ(学力):S1~S3(難関大合格レベル)、「成績▲」はD1~D3(基礎・基本養成レベル)の生徒の平均回答率です。※「GTZ(学力)」は、学力の到達度をS1~D3の15段階の大学群で表示したものです。

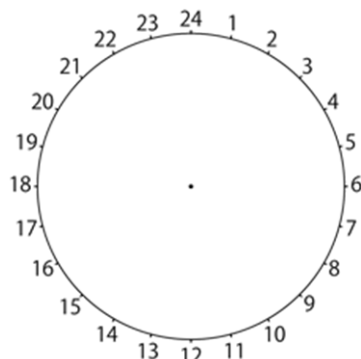
学習の「量」と「質」を両立するために取り組みたい2点

- ① **学習スケジュールをたててみよう!**
学習時間がどれだけ確保できるかを確認し、毎日学習する習慣を定着させましょう。
- ② **「なぜ」を繰り返して、徹底的に理解することを心がけよう!**
「わかったつもり」をなくし、理解を深める学習を心がけましょう。

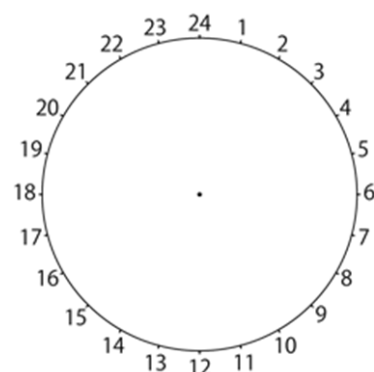
ワーク① これからの1日の学習スケジュールを計画してみよう!

学習開始時間を固定すると、学習時間を確保しやすくなります。

平日のスケジュール



休日のスケジュール



ワーク② 学習の「質」を上げるポイントを確認し、できていない項目を実践しよう!

成績◎と成績▲で差が開いた、学習の「質」を上げるヒントとなる項目をまとめました。取り組めている項目の□にチェックをつけましょう。また、抜けていた項目については、今後の学習に取り入れるように工夫しましょう。

<国語>

- 論理的な文章は論の展開や構成に注目して読む (成績◎:65.8% 成績▲:24.9%)
- 小説は登場人物の心理等を表現に即して読む (成績◎:75.3% 成績▲:38.0%)
- 古文や漢文は主語の省略を述語から類推する (成績◎:70.2% 成績▲:18.6%)

<数学>

- 問題を解くとき図やグラフをかいて考える (成績◎:83.1% 成績▲:33.5%)
- 解答の方針を立ててから問題を解く (成績◎:70.3% 成績▲:20.1%)
- 解けない問題はどこがわからないかを明らかにする (成績◎:80.1% 成績▲:32.7%)

<英語>

- 文脈から語句の意味を推測し調べる (成績◎:69.6% 成績▲:24.9%)
- 英文全体の筆者の主張をとらえる (成績◎:69.2% 成績▲:18.3%)
- 英文の接続詞や指示語を意識する (成績◎:78.8% 成績▲:22.9%)

表面のグラフで「成績のよかった人は学習時間を確保している」という結果を見ましたが、みなさんは学習時間を確保できていますか。「平日 2時間以上勉強している」人の64.7%が成績がよかった、ということですが、これは平常日の取組の時間のことです。

来週から中間考査が始まりますが、この期間は原則として部活動等もないわけですので、みなさんは今回、平常日以上に学習時間を確保できます。

また、進学希望の人も、就職希望の人も、定期考査への取組を通して身につけなければならない力は①「計画力」②「集中力」③「持続力・実行力」です。この3つの力は将来自分を支えてくれる力となります。定期考査に向けて学力をつけようと取り組むことで、これらの「生きていくうえで大切な力」も身につけましょう。

① 先の予定を見通し、自分の力にあわせた「計画」をたてる力

自分の力がついていなければ、他の人より学習時間はたくさん必要となります。先の予定を見通して学習時間を確保する工夫をしましょう。

② 「集中」して取り組む力

多くの時間机に向かっていたとしても、集中していなければ力はつきません。学力をつけるための取組を通して集中力をつけましょう。

③ 持続して実行する力

集中するのが短時間で終わってしまったり、計画通りに持続して実行できなかつたりしないよう、持続して取り組む力をつけましょう。

進路実現のために学力のつく学習ができるよう、また、学習への取組を通して生きる力をつけられるよう、中間考査に向けて全力で取り組みましょう。